

F2-31

東京都町田市におけるFC町田ゼルビアホームタウンとしてのまちづくりに関する研究

Research on Town Development as a Hometown of FC Machida Zelvia in Machida City, Tokyo

時得泰希¹, 押田佳子²

Taiki Tokie¹, Keiko Oshida²

Abstract: In this study, we investigated Machida City's town development as the hometown of FC Machida Zelvia. The results revealed that as Zelvia grew stronger, Machida City enhanced both its hardware and software efforts and strengthened cooperation.

1. 背景及び目的—2012年に日本プロサッカーリーグ(以降Jリーグ)に加盟したFC町田ゼルビア(以降ゼルビア)は、2023年にJリーグ1部リーグ昇格が決定したプロサッカーチームである。活動の本拠地である東京都町田市は、2023年11月18日にゼルビアのJ2初優勝とJ1昇格を記念するパレードが市内で開催される様子が大々的に報じられる^[1]など、新たなJリーグのホームタウンとして注目を集めている。以上を踏まえ、本研究では町田市におけるゼルビアのホームタウンとしての取り組みより、まちづくりの実態を捉えることを目的とする。

2. 調査対象地概要—本研究ではゼルビアのホームタウンである東京都町田市を調査対象とする。

3. 調査方法—調査概要をTable1に示す。

4. 結果及び考察—ゼルビアに係わる町田市の取り組みをTable2に示す。Jリーグ及びゼルビア、ゼルビアに係わる町田市の取り組みに関する年表をTable3に示す。Table3より、ゼルビアに係わる町田市の動きに着目し、非連携期(1971~2005年)、連携構築期(2006~2011年)、連携強化期(2012~2015年)、全面協力期(2016年~)の4期に大別した。以降、これらに従い結果及び考察を述べる。

4-1. 非連携期(1971~2005年)—Table3より、1971年に【1】町田市役所にスポーツ振興課が発足した。1991年に【4】町田市立陸上競技場(以降陸上競技場)が開場し、その後1993年の【6】Jリーグ開幕に合わせ、【7】全日空横浜サッカークラブ(現横浜F・マリノス)より陸上競技場を本拠地とする提案なされたが、Table2Q1より、陸上競技場がJリーグスタジア

Table 1. 調査概要

文献調査	
調査対象	1971年~2024年8月23日時点におけるFC町田ゼルビアに係わる東京都町田市の取り組みに関する新聞記事のうち、「FC町田ゼルビア」で該当したヨミダス歴史館より208件 ^[1]
調査内容	FC町田ゼルビアと東京都町田市が関連する出来事
ヒアリング調査	
調査対象	2024年8月26日に東京都町田市役所文化スポーツ振興部スポーツ振興課
調査内容	Table2に示す

ムとしての規模を満たしていなかったことより成立しなかった。一方ゼルビアは1977年に【2】前身となるチームが誕生し、1989年に【3】トップチームが設立、1997年に【8】チーム名が現在の「FC町田ゼルビア」に変更された。

4-2. 連携構築期(2006~2011年)—Table3より、2006年に【12】町田市とゼルビアとの間に相互連携協定が結ばれた。この背景にはTable2Q2より、チーム側はファンの増加、町田市はシティプロモーションへの期待があったためとみられる。さらに同時期に【16】ゼルビアがJリーグの下部リーグである日本フットボールリーグ(JFL)に加盟したことで、町田市はその後のJリーグ参入を見込み、ホームグラウンドである【15】陸上競技場の改修工事に着手し、2011年に【23】竣工した。しかし2010年に変更したJリーグのスタジアム基準を満たさないことから、【21】ゼルビアはJリーグ加盟を逃し、改めて【24】再改修へと至った。

4-3. 連携強化期(2012~2015年)—Table3より、2012年の【26】ゼルビアのJリーグ加盟を受け、【28】町田市によるPR活動が本格化し、市内各地で【35】選手による出前サッカー教室を行うなど、地域交流が活発化するようになった。

4-4. 全面協力期(2016年~)—Table3より、2016年に【37】ゼルビアの二度目のJ2昇格を受け、観戦を目的とした来訪者の増加を見込んだ【38】町田駅前とスタジアム周辺を結ぶ接続バスの運行が始まり、【39】ゼルビアのJ1昇格に向けた陸上競技場の改修に向け、【41】ふるさと納税の寄付金を工事費用に充てるなど、市が積極的にハード整備に取り組むようになった。さらに【48】多摩モノレール延伸計画にてスタジアム近くを通るルートを含むなど、ゼルビアを中心としたまちづくりがみられるようになった。

1: 日大理工 学部 まち 2: 日大理工 教員 まち

Table2Q3Q4より、町田市では以上の取り組みが知名度向上に繋がり、Table2Q5より、更なる町田駅周辺の活性化や ACLE^{注1}に向けた陸上競技場の改修などが期待されている。

5. まとめ—以上より、非連携期には町田市のスポーツクラブの受け入れ環境は整っていなかったが、連携構築期に連携協定締結を機に、町田市がハード面の取り組みを積極的に行うようになり、さらに連携強化期のゼルビアのJリーグ加盟を経て、ソフト面の取り組みも活発化したことを捉えた。全面協力期にはゼルビアの二度目のJ2昇格や初のJ1昇格を受け、町田市とゼルビアとが共に地域活性化を支えることを見込んだ、ソフトとハードが一体となった

まちづくりに至ったといえよう。

6. 謝辞—本研究のヒアリング調査に際し、東京都町田市役所文化スポーツ振興部スポーツ振興課のご担当者様に多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

7. 注釈—注1:正式名称を AFC チャンピオンズリーグエリートというアジアサッカー連盟(AFC)が主催する、クラブチームによるサッカーの大陸選手権大会である。

8. 参考文献—[1]ヨミダス歴史館,<https://database.yomiuri.co.jp/rekishika,2024.8.23> [2]FC 町田ゼルビアオフィシャルサイト,<https://www.zelvia.co.jp/,2024.9.25>

Table 2. ゼルビアに係わる町田市の取り組み

Q1. 全日空横浜サッカークラブが市立陸上競技場を本拠地とする提案を断った理由
・定期的にJリーグクラブのホームスタジアムとなるのは不可能であったため
Q2. ゼルビアと連携を結んだ経緯・理由
・応援とシティプロモーションの観点から将来性を期待したため
Q3. ゼルビアのJ2昇格に伴う効果・課題
・町田市の知名度向上につながる
Q4. ゼルビアのJ1昇格に伴う効果・課題
・今まで以上の町田市の知名度向上につながる
Q5. 町田市として今後の課題や目標
・ACLE ^{注1} に向けたスタジアム改修作業 ・町田駅周辺(中心市街地)の経済効果上昇

Table 3. Jリーグ及びゼルビア、ゼルビアに係わる町田市の取り組みに関する年表

期	西暦(年)	Jリーグ及びFC町田ゼルビアの取り組み ^[2]	FC町田ゼルビアに関する町田市の取り組み	
			ハード事業	ソフト事業
非連携期	1971			[1] 町田市役所にてスポーツ振興課発足
	1977	[2] 少年サッカーチーム「FC町田トレーニングセンター」設立		
	1989	[3] 「FC町田トップ」を設立		
	1990		[4] 町田市立陸上競技場が開場	
	1991	[5] 東京都社会人サッカーリーグ4部に参入		
	1993	[6] ●Jリーグ開幕		[7] 市が「全日空横浜サッカークラブが町田市立陸上競技場を本拠地とする提案」を拒否
	1997	[8] 「FC町田ゼルビア」にチーム名を変更 [9] 東京都リーグ1部へ昇格		
連携構築期	1999	[10] ●Jリーグに二部制(J1, J2制度)導入		
	2006	[11] 関東リーグ2部優勝		[12] 町田市とゼルビアで相互連携協定を結ぶ
	2007	[13] 関東リーグ1部昇格		
	2008	[14] 株式会社ゼルビアが設立	[15] 市立陸上競技場の改修工事の見通しが立つ	
	2009	[16] JFL(Jリーグの下部リーグ)加盟	[18] 町田市立陸上競技場の改修工事着工	[19] 市立陸上競技場のJリーグ基準に合わせた改修工事のための署名活動が行われる [20] 地元の町田市や企業などがゼルビアを支援
	2010	[17] Jリーグ準加盟クラブとして承認 [21] 町田市立陸上競技場が基準を満たさずJリーグ加盟を逃す		
	2011	[22] Jリーグ臨時理事会でJリーグ加盟が承認	[23] 町田市立陸上競技場の改修工事竣工 [24] J2昇格に向けスタジアムの再改修を決意 [25] 仮設メディアセンターがゼルビアのJ2昇格に備え、町田市立陸上競技場に建設される	
連携強化期	2012	[26] Jリーグ加盟(J2昇格)	[27] 仮設メディアセンター完成	[28] 町田市役所でゼルビアのPR活動が本格化 [29] 町田市立陸上競技場で2度行った工事に対し不要な支出であったと住民監査請求がされる
	2013	[30] JFL(Jリーグの下部リーグ)降格	[31] 町田市立陸上競技場をJリーグ基準に合わせる改修が完了	
	2014	[32] ●J3導入		[34] 東京オリンピックのキャンプ地に向け「第2次野津田公園整備基本計画」を発表
	2015	[33] J3昇格	[36] J2昇格の決定に伴い市は町田市立陸上競技場のバックスタンドに大型映像装置を導入する方針が明らかに	[35] 出前サッカー教室の開催
全面協力期	2016	[37] J2昇格	[38] ホームゲームに合わせて市立陸上競技場まで接続バスを運行	
	2017			[39] J1昇格に向け市の5か年計画(2017~21年度)に、市立陸上競技場の増設が初めて盛り込まれる
	2018	[40] サイバーエージェントがゼルビアの経営に参画することを発表		[41] ふるさと納税の寄付金を町田市立陸上競技場の改修工事の費用に充てる [42] ふるさと納税の返礼品としてゼルビアのホームゲームへの招待
	2019		[43] ゼルビアが町田市立野津田公園内に天然芝のグラウンドを整備 [44] 市立陸上競技場の増築の改修に着工	
	2020		[45] ゼルビアの練習グラウンド用地として下水処理施設を無償で貸し出す	
	2021		[46] 市立陸上競技場の増築の改修が竣工	
	2022	[47] ゼルビア運営会社社長にサイバーエージェント社長が就任	[48] 多摩モノレール延伸にて市立陸上競技場の近くを通るルートを整備する方向で調整が入る [49] ゼルビアクラブハウス着工、竣工	
	2023	[50] サイバーエージェントがメインスポンサーに就任		[51] J2優勝, J1昇格パレードが町田駅周辺で行われる
2024	[52] J1昇格	[53] 町田駅前とスタジアム周辺を結ぶ無料直行バスを運行	[54] 市とゼルビアで子育て支援や障害の有無を問わないインクルーシブ社会の実現に関する連携協定が締結 [55] 町田駅ベデストリアン一号デッキの壁面装飾 [56] 観光バスツアー企画	

凡例 【数字】:通し番号 ●:Jリーグの取り組み